

都市計画の案の理由書

1 種類・名称

国立都市計画地区計画 矢川上地区地区計画の決定

2 理由

本地区は、国立市の西部に位置し、主に戸建て住宅地及び大学・短期大学として長期間のうちに市街化が進んだ区域であり、地区北側の都市計画道路3・4・4号国立昭島線の整備により交通環境が向上したものの、地区内には行き止まり道路や狭あい道路等の課題を有している。

国立市都市計画マスタープランにおいて、本地区を含む「富士見台地域」は、より多くの若者・子育て世代を地域に呼び込むとともに、多世代がバランスよく集い、支え合うまちを目指すとしている。また、国立市南部地域整備基本計画改定版（令和6年6月）では、土地区画整理事業から地区計画の活用によるまちづくりへの転換を図り、富士見台地域の街並みに調和し、また地域における意見や提案も踏まえた新たな中層住宅地の形成を目指した地域地区等の変更を進めるとしている。

本地区においては、緑豊かでゆとりある住環境の形成を促進するとともに、市街地の安全性の向上を図り、大学と地域が交流する楽しく住み続けられるまちづくりを通じて、災害に強い、安心安全な地域づくりの実現のため、面積約8.8ヘクタールの区域において地区計画を決定するものである。